

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



令和3年
10月号

大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



石山寺(滋賀県大津市)

今月の予定

10月

3日(日)
6日(水) 午後7時半
9日(土) 午後5時半

城西ブロック会間法会 **中止**
燈虹塾オンラインセミナー
同行会「宗祖親鸞聖人」に聞く
法話:大橋 伊知郎

16日(土) 午後1時半
17日(日) 午後2時
20日(水) 午後1時半
21日(木) 午後3時
24日(日) 午後2時
31日(日) 午後2時

定例間法会
城南ブロック会間法会
婦人会間法会
総代会
城東ブロック会間法会
中央ブロック会間法会

11月

3日(水)
6日(土)・7日(日)

燈虹塾
西徳寺報恩講

※コロナ禍でありますので、予定は変更することがあります。
詳しくは寺務所までお問合せください。

顧問の一言

誕生

西洋では「ハッピーバースデー」と祝っているが、東洋では起源が違う。「誕」は「いつわる、あざむく、ままならぬ」という意味。その娑婆に生まれ合わせ、生きる意義を訪ねることが、仏道の意義なのである。



10月の山門の言葉

人間の不安は、人智とともに成長する 金子 大栄



【不安】 日常生活の中で、漠然とした特定できない脅威を察知したときに、自我の危機として経験する心的反応

【人智】 人間のちえ・知識

先日、小学一年生になる長女が、学校でパソコンの授業を受けてきた。一年生から習うことに驚いたが、確かに今の子どもは小さい頃からパソコンに慣れ、使いこなせたほうが将来役に立つ。今やネット社会は子どもにとつては当たり前のことだが、昭和の終わりに生まれた私からすると、老婆心ながら先の社会がどうなっていくのか、いささか不安である。

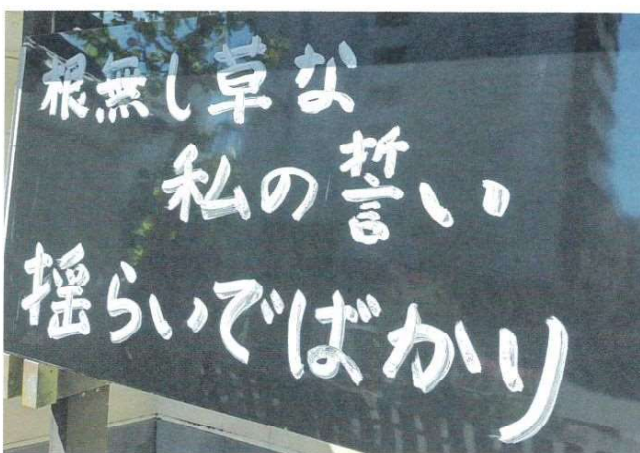
技術の発達は、より良い生き方をしたいという人間の意欲の表れであろう。そして一人ひとりの命を救うために、医療や様々な技術を開発し、少しでも安心できる生き方を目指してきた。反面、それは不安との戦いでもある。不安を敵とし、人智を武器として戦いを挑むのである。

今、世界中を不安にしているのは他でもなく、新型コロナウイルスであろう。健康面、経済面、共に不安でしかない。しかしそのコロナ禍で明らかになったのは、当たり前の日々の大切さと、その大切さに気付けない私の心ではないだろうか。

不安といっても漠然としたものであるが、大きく分けると、どう生きるかを求める「生の不安」と、いつか必ず死を迎えるという「死の不安」である。実はその不安の元は、私の心への執着であり、その執着は外に敵を作り出す。私の心に振り回され、戦い、迷い続けているのだ。「渴して塩水を飲むが如く」と譬えがあるように、私たちの心はどこまでも満足を知らない。

今月の言葉は、人智を頼りにする私の心は、新たな不安を生み出し、結局不安はなくならないのだと教える。そして本当は、人智と不安が戦っているのではなく、その二つの関係が人間の歴史、そしてこの私の原点であり、純粋ないのちの営みなのだと思わせる言葉なのである。

いただいた今を見失っては、不安をいのちとはいだけない。
(仲井真裕記)



私の性格上、信念を貫くような生き方が出来ているとは思っていないので、ブレずに頑張っている人が羨ましく思います。

(40代・男性会社員)



九月に掲げた山門の言葉を皆さんはどう聞いたのか、お尋ねしました。



他人に厳しく、自分に甘い。そんな自分が情けない。しかし、そんな思いも三日坊主。そんな確かでない人間同士が共に生きるこの世は、すれ違いの連続であろう。

ただ、譲る心があれば…。まずは自分を知ることからですね。

(30代・僧侶)



みんなは
こう聞いた!!

報恩講のご案内

日時:11月6日(土)

午後1時30分

お逮夜法要
法話

3時30分

『御伝文』拝読

11月7日(日)

午前10時

お日中法要
法話



布教使紹介

この度の報恩講は、兵庫県西宮市の常福寺住職であります、^{くさか}日下貴行布教使をお迎えいたします。昨年の春季永代経法要でお越し頂く予定でしたがコロナにより中止となりました。改めて依頼させて頂きました。

日下布教使は私と大橋副住職と共に、本山で研修を受けた仲間です(聞法運動推進員養成研修会:燈炬会)。また、本山発行の「ともしび」編集にも携わっており、今後の佛光寺派の要となろう方があります。

若々しい感覚のお話が伺えると期待しております。

是非、皆様お誘い合わせの上、ご来寺ください。

住職 山崎 哲



日下貴行布教使

コロナ対策

- ・両日おとき(昼食)はございません。
- ・お参り希望の方は11月1日までにお電話にてお申し込みください。
- ・急遽ご参加の場合はご連絡いただかなくても結構です。
- ・当日はお手数ですが「ご記帳」、「検温」のご協力お願い致します。

なお恐縮ではございますが、法要執行のためご懇志をお納めいただきたく存じます。ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



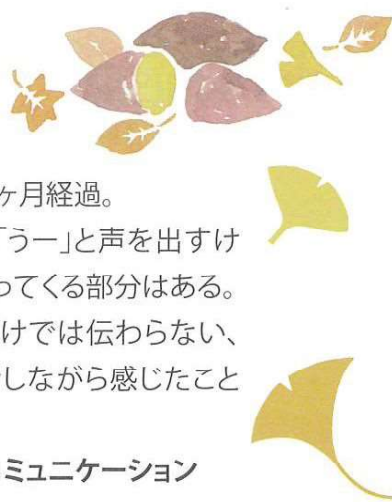
坊さんのツブヤITTER



@イチー

親子3人での新生活がスタートして2ヶ月経過。
言葉がまだ話せない息子が「あー」とか「うー」と声を出すけど、表情とか声の高さで、なんとなく伝わってくる部分はある。
言葉でしか伝えられないけど、言葉だけでは伝わらない、そんな事もあるんじゃないかと息子と話しながら感じたことをつぶやいてみた。

#新生活 #生後3ヶ月 #言葉 #コミュニケーション



えこお志お礼

葛飾区 小松 正秀 様
葛飾区 宮崎 佐久恵 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

内愚外賢

～賢者の信を聞きて、愚禿が心を顕す～

再来月11月は西徳寺報恩講が勤まります。昔から「真宗門徒の一年は、報恩講に始まり報恩講に終わる」といわれています。コロナ禍ではありますが、どうぞ、皆様にお参りいただき、親鸞聖人の徳を讃えたいと思います。

先月9月号の「えこお」と同封いたしましたのは、「文化時報」という宗教新聞に掲載いたしました広告です。山崎住職をはじめ、西徳寺新体制のご報告を、全国のお寺や、関係者の皆様にご報告させていただきましたものを、お送りいたしました。



石山寺礎灰石

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook

「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。